

やまなし自然首都圏構想研究会第1回二拠点居住推進部会概要

1. 日時

令和2年9月15日（火）10:00～11:30

2. 場所

山梨県防災新館401, 402会議室（テレビ会議システム）

3. 出席者

（座長）東博暢

（委員）有賀翼、飯嶋利之、関岡真、中村和男、平林良仁、藤本裕之、
丸山裕貴、渡辺大介 ※五十音順、敬称略

（ 県 ）長崎幸太郎知事

4. 主な意見（意見交換テーマ：二拠点居住の推進について）

- ・ 負担が少なく利用しやすい不動産の用意や移動のコストへの支援が必要
- ・ 子育て世代が一定の期間山梨で暮らすことになった際、子どもが山梨で小中学校に通え、出席日数が合算できるといった教育体制が整備されると良い
- ・ 二軒目の住宅の取得の際にも住宅ローン控除が適用されるようにすることは可能か
- ・ 有名な個人シェフを誘致し、県内に美味しいレストランを増やしていくことが必要
- ・ 個人の移住だけでなく、法人の移住も一つのテーマとして位置付けていくべき
- ・ 移住の相談に来た方から、県内のシェアオフィスやコワーキングスペースの情報をまとめたポータルサイトが欲しいという声がある
- ・ 人の受け入れのために最も問題となるのがコミュニティ。人・情報が集まり、悩みや課題を解決できるコミュニティづくり、またそのコミュニティの核となる人材の育成が必要
- ・ 名古屋、大阪からの人の取り込みも意識していくべき
- ・ 移住者へのコンシェルジュのような役割を担うことも踏まえ、画面付きのAIスピーカーを使いながら、Ma a Sや遠隔医療を誰でも利用できる仕組みづくりが必要
- ・ インセンティブの付与等によって、二拠点居住者を把握していくことが重要
- ・ ヘリコプターの乗り入れ環境の整備など、ハイエンド層をいかに巻き込んでいくかが重要 など